

論文審査の結果の要旨

報告番号	博(医歯薬)甲第 78 号	氏名	小 山 純
学位審査委員	主 査	芳 本 忠	
	副 査	小 林 信 之	
	副 査	平 山 壽 哉	
<p>論文審査の結果の要旨</p> <p>1 研究目的の評価 本研究は、インフルエンザ菌莢膜非保有株の繰り返し感染による誘導された獲得免疫の防御機能について検討すること。および臨床の場でおこる繰り返し感染の機構を明らかにしようとするもので、目的は十分に妥当である。</p> <p>2 研究手法に関する評価 まず、SDS-PAGE で OMP を調べ、マウスを用い OMP の繰り返し気管内投与し、肺内の生菌クリアランスを調べている。次いで、ELISA 法と avidity assay 法を用い抗体の測定を行っている。更に、患者由来株について P2 コード領域のアミノ酸配列を調べ比較している。これらの手法は妥当である。</p> <p>3 解析・考察の評価 上記手法で解析した結果、同種株繰り返し気管内投与に伴う avidity の上昇がみられた。しかし、BALF 中における、IgG, IgA 産生の増加と、avidity が上昇により肺内の菌クリアランスが亢進されるのは、同種株の繰り返し投与群のみである。それ故、主に抗原特異的なエピトープにより既定されるものと解析した。これらの解析と考察は妥当であると判断する。</p> <p>以上のように本論文は臨床薬学研究に貢献するところが大きく、審査委員は全員一致で博士（臨床薬学）の学位に値するものと判断した。</p>			